

# 台風6号の接近に伴う被害防止対策について

気象災害対策H27-3  
平成27年5月11日  
農林総合研究センター

## I 被害防止対策

詳しい台風情報、解説は最終ページ

非常に強い台風第6号は、バシー海峡を1時間におよそ20キロの速さで北へ進んでいます。

石川県には12日夜から13日にかけて最接近し、影響を及ぼす可能性があります。今後の台風情報に十分注意し、万全の対策を講じて下さい。

### 〈要旨〉

- (1) 大雨に備えて、ほ場の排水路を事前に点検・連結し、排水対策を講ずる。
- (2) 野菜や果樹等の園芸施設では、施設内に風が吹き込まないように、サイドのビニールを閉め、破損箇所は速やかに補修し、ビニールのバタつきを防ぐためにハウスバンドを締め直すなど点検・整備する。
- (3) 収穫期に入っている園芸作物では、熟度を確認し、収穫可能なものは早急に収穫、出荷する。

### 〈詳細〉

## II 農作物の被害防止対策

### 1 水稻

- ① 強風・潮風害による葉先枯れや稲体の活力低下を防止するため、事前にやや深めの湛水とし、被害を軽減する。なお、台風通過後は速やかに落水し、浅水管理に努める。

### 2 大麦

- ① 圃場の排水路を事前に点検・連結するとともに、台風通過後は表面停滞水の速やかな排水に努める。

### 3 野菜・花き

露地野菜（すいか、かぼちゃ、ばれいしょ、ねぎ）、花き（きく、けいとう）では、排水対策と殺菌剤等の薬剤散布を行い草勢の維持と病害の発生を防止する。

- ① 速やかに表面排水が図れるよう、排水溝の整備を行う。
- ② 叩きつけるような雨は跳ね上がりや雨粒の飛散が著しく、炭疽病や疫病の伝搬を招きやすい。薬剤散布は雨前、雨後散布が効果的であり、病原菌が植

物体に侵入しないように薬剤の作用特性を考慮して行う。

- ③ 風でもまれた茎葉は病害が発生しやすいので、殺菌剤による防除を行う。
- ④ 施設野菜では、ハウスバンドのゆるみを補強し、ビニールの破れている部分がある場合は早めに補修する。

#### 4 果樹

- ① 防風施設は支柱を点検し、ネットの破れ等は補修し架線にしっかり固定する。
- ② 高接ぎ更新などの接ぎ木部分は風に弱いため、支柱を添えて必ず補強する。また、以前に裂けた枝、裂ける危険のある個所についても補強が必要である。
- ③ 果樹棚やハウス等は事前に点検し、必要に応じて支柱・アンカー等で補強する。
- ④ ぶどうでは、ハウスバンドのゆるみを補強する。また、防鳥網、防風ネットは風で飛ばされないようしっかり固定する。
- ⑤ 大雨を伴う場合は、排水溝を設置するなど園内の排水対策を行う。
- ⑥ 風で葉や新梢が傷ついた場合、安全使用基準に基づき保護と防除を兼ねて速やかに殺菌剤を散布する。

#### 5 畜産

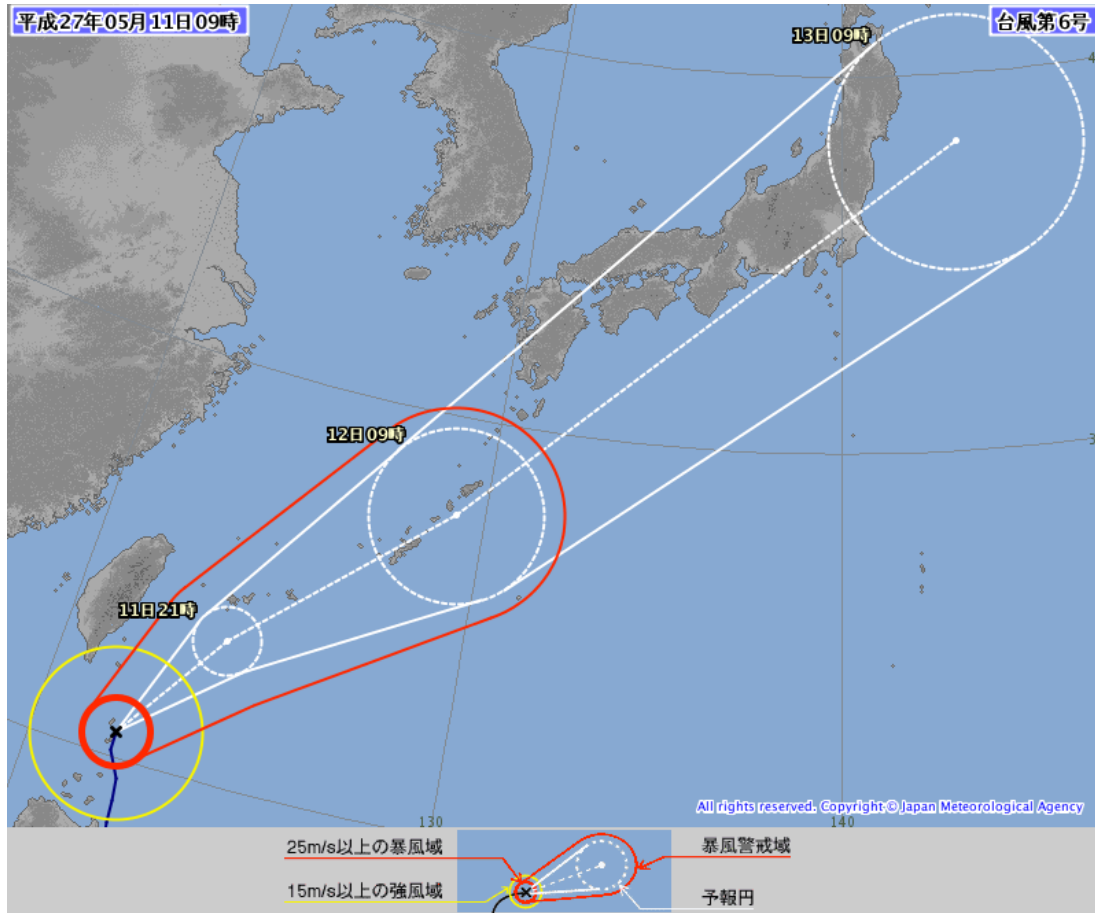
##### (1) 畜舎など

- ① 畜舎内に風が吹きこまないように、窓、戸等の損傷箇所は速やかに補修する。
- ② 暴風時は風向きを考慮し畜舎の開口部を最小にして、換気扇を稼働させて換気を行う。
- ③ 畜舎への雨水の侵入を防ぎ、配合飼料・乾草等は濡れて変質しないよう安全な場所に移動する。
- ④ 停電によって搾乳ラインやバルククーラーが止まることが予想される場合は、緊急時の発電機の確保を検討しておく。

##### (2) 飼料作物

- ① 飼料畑ほ場に排水溝を設けて、表面排水を徹底する。
- ② ロールベールサイレージのラップやバンカーサイロ等の被覆ビニールは網をかけるなど強風による破損を防止する。

### Ⅲ 気象の概況 台風の進路予想



＜11日09時の実況＞	
大きさ	-
強さ	非常に強い
存在地域	バシー海峡
中心位置	北緯 20度 35分(20.6度)
	東経 122度 00分(122.0度)
進行方向、速さ	北 20km/h(10kt)
中心気圧	945hPa
中心付近の最大風速	45m/s(85kt)
最大瞬間風速	60m/s(120kt)
25m/s以上の暴風域	全域 90km(50NM)
15m/s以上の強風域	全域 220km(120NM)

